

ミシンと衣服の経済史

地球規模経済と家内生産

岩本真一著

▼A5判・五〇〇頁／定価 六、三〇〇円(税5%込)

ISBN978-4-7842-1719-9

【二〇一四年三月刊行】

一九世紀後半から二〇世紀半ばにかけて、シンガー社のミシンは世界を席卷し、東アジアはその最終市場であった。こうした状況下でのシンガー社の日本進出を中心に、近代日本におけるミシンの普及と衣服産業の展開を分析。衣服産業については工場内生産のみならず家内生産にも視野を広げ、これまで断片的にしか知られてこなかった近代日本衣服産業の概要と特徴を明らかにする。

○予定内容目次○

序章 問題の所在と本書の課題

問題意識―衣服生産とデザイン工程―先行研究の整理／本書の課題と構成

第1部 ミシンの特質と普及過程

第1章 繊維機械としてのミシン

繊維機械の比較(一)―開発時期と機械化内容―繊維機械の比較(二)―工場動力化率―ミシンの特徴

第2章 ミシン多様化の意味

米国ミシン会社とイノベーション／シンガー社製品の多様性／多様化と競争基盤

第3章 ミシンの東アジアへの普及

シンガー社の対東アジア戦略／東アジアにおけるミシン普及

第4章 近代女性の共時性と衣服商品化の波

服を作る女性―裁縫教育と良妻賢母像―服を買う女性―都市遊歩とモダン・ガール像―二重の洋服化―洋服の普及と伝統服の改良―衣服商品化の時間差

第5章 日本のミシン輸入動向と普及経路

ミシン台数の推計とミシン導入の略史／一八八三～一八九四年(第1期)…ミシンの初出／一八九五～一九一三年(第2期)…足踏式ミシンの普及／一九一四～一九三七年(第3期)…ミシン普及経路の多様化／一九三七～一九四五年(第4期)…輸入の途絶と国産の台頭／小括―ミシンと衣服産業―

第2部 衣服産業の形態と展開過程

第1章 衣服産業の類型―規模と生産体制―

衣料品部門産業化の概要と概念／全体動向―出荷額の推移と材料生地地の傾向―規模別4類型の基準／規模類型と諸工場／規模の固定化

第2章 衣服産業の地域分布

統計類の比較と『工業統計表』の概要／府県数からみた分布類型／小括

第3章 中規模工場の経営動向―藤本仕立店の生産体制と多品種性―

藤本仕立店の概要／生産体制―自家生産と委託生産―取扱製品―多品種性と主力品推移―小括―安定営業の要因に関して―

第4章 製帽業の構造と展開―その多様性と工程間分業―

製帽業の位置／生産動向／製帽業の構造／品種別特徴と生産工程／小括


終章 ミシンと衣服の経済史―生産体制論と現代―

ミシンと衣服の経済史／現代―裁縫工場の外国移転―

いわもと・しんいち：大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士
課程修了、博士(経済学)。現在、大阪経済大学日本経済史研究所研究員。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	ミシンと衣服の経済史	本体6,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1719-9	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
			本書HPのQRコード		書店番線印

※東アジア経済史研究 第一集

中国・韓国・日本・琉球の交流

大阪経済大学日本経済史研究所編

日本における研究を発信するだけでなく、世界、アジアにおける研究情報を系統的に取り込み、データベース化し国際的な研究の発展と交流を目指して行われた第1回東アジア経済史研究会「近世・近代の東アジア経済史研究」(2007年大阪経済大学日本経済史研究所主催)の成果。

【内容】漢代財政監督に関する研究／中国漢民族居住地域における宗族集住の地域差／近世日本中国朝鮮における貨幣経済比較史試論／砂糖菓子からみた近世日中間の境界領域／近代日清関係の形成—1860～70年代／ミシンのグローバル性と東アジアの衣服産業／植民地期共同体の規範の移植／第一次世界大戦と朝鮮貿易／天津と仁川を通じてみた開港場貿易の発展と近代都市の成長／購買力平価による日中韓経済比較

▶A5判・344頁／定価 4,200円

ISBN978-4-7842-1498-3

日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

明治維新以降、めざましい発展を遂げてきた近代化の歩みを支えた産業技術の変遷を跡づける。23の大項目と344の小項目で系統的・組織的に日本産業技術史を俯瞰した画期的な読む事典。

【大項目】総説 日本産業技術・維新から1980年代まで(中岡哲郎)／道具・生活道具や工芸関連道具を中心に(山口昌伴)／機械(鈴木淳)／素材・木材と土石(石村真一)／素材・鉄(奈倉文二)／人工の素材・化学(高松亨)／産銅業(内田俊秀)／石炭産業(後藤邦夫)／動力と動力システム(橋本毅彦)／鉄道と船(堤一郎)／航空機と自動車(坂上茂樹)／情報・通信(後藤邦夫)／生産技術(中岡哲郎)／農業・林業・漁業(堀尾尚志)／食品加工業(吉田元)／繊維と衣服(内田星美)／耐久消費財(平本厚)／建築とデザイン(麓和善)／環境技術(末石富太郎)／学協会と技術者集団(沢井実)／技術者教育(沢井実)／研究開発機関(田中一郎)／1980年代以降の産業技術(後藤邦夫)

▶B5判・550頁／定価 12,600円

ISBN978-4-7842-1345-0

技術と文明 [既刊33冊]

日本産業技術史学会編

日本産業技術史学会は、産業技術に関する歴史についての調査・研究を促進し、その成果を社会に還元することを目的として、昭和59(1984)年に設立。産業研究の各分野、経済学、人類学、日本史、工学等の広範囲の専門家による学際的交流の下で、産業技術史研究の基礎確立を目指す。本誌はその研究発表の場。

▶B5判・平均100頁／
1巻～9巻・19巻～33巻・各定価 2,100円
10巻～18巻・各定価 2,039円

経済史再考

徳永光俊・本多三郎編

大阪経済大学日本経済史研究所開所70周年記念論文集。経済史研究の方法論5篇、国内外の経済史・経営史を実証的に分析した論24篇を収録。

【内容】経済史を考え直す—前近代社会を中心に／黒正史学再考—日本「経済民」史学に向けて／天野元之助と中国古農書研究／堺と長崎—15～17世紀東アジア海域の国際貿易都市／16・17世紀の東アジア貿易と琉球／近世地方金融資本「石州銀」と九州 他

▶A5判・620頁／定価 12,600円

ISBN4-7842-1153-5

牛と農村の近代史 家畜預託慣行の研究

板垣貴志著

明治以降の近代化のなかで発展から取り残された中国山地では前近代的ペールに包まれた家畜預託慣行が急激に拡大していた。本書は、牛を介して取り結ばれる人々の社会関係を明らかにし、それが近代農村で果たした歴史的意義を解明する。歴史の片隅へ押し流されながらも、地域社会の調和と共存のために努めた名もなき農民群像を描く。

▶A5判・250頁／定価 5,040円

ISBN978-4-7842-1725-0

伝統産業の成立と発展 播州三木金物の事例

桑田優著

兵庫県三木市の伝統産業、三木金物は近世後期に勃興し、現在にいたっている。本書は、流通機構の発達など社会的な背景にも着目し、三木金物が特産品として全国市場へ進出してゆく過程を跡づける通史である。

▶A5判・302頁／定価 6,825円

ISBN978-4-7842-1523-2

※逆欠如の日本生活文化

園田英弘編著

日本にあるものは世界にあるか 西洋にあるものが日本にはない「欠如」という観点からではなく、出発点を日本において「日本にあるものは世界にあるか」という新たな方法論に基づく文化比較。「制度」も内包する広い意味での生活文化のうち、日本に固有と思われている現象について国際比較することにより、鮮やかに見えてくる特性。

▶A5判・404頁／定価 3,990円

ISBN4-7842-1248-5

※万国博覧会の研究

吉田光邦編

19世紀、体制を整備しつつあった国家・近代的な企業・国民という意識に支えられた大衆社会を基盤にスタートした新しい情報メディアの場、博覧会の諸相を明かす学際的研究。【内容】博覧会時代の背景／万国博覧会と日本の「美術工芸」／クリストファー・ドレッサーと日本／クルップ社の19世紀／パリ博覧会日本館・1937／博覧会と特許 他

▶A5判・374頁／定価 6,825円

ISBN4-7842-0414-8

着衣する身体と女性の周縁化

武田佐知子編

着衣という共通の素材を通して、さまざまな社会におけるジェンダーのあり方を考察。グローバルな視点から、衣服と身体表象について解き明かす論文集。取り上げる素材は、「民族衣装」「魔女」「リカちゃん人形」「マイケル・ジャクソン」等、多岐にわたる一書。

▶A5判・500頁／定価 6,090円

ISBN978-4-7842-1616-1

※布がつくる社会関係

金谷美和著

インド絞り染め布とムスリム職人の民族誌 染色業者カトリーと、カトリーの生産する布について民族誌的記述を行うことで、布を生産することによって構築される社会関係と、布の使用によって構築される社会関係について明らかにする。布を視点として社会を分析するという文化人類学的研究の新たな可能性を拓くことを目指した意欲作。

▶A5判・330頁／定価 6,510円

ISBN978-4-7842-1341-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。